

平成 30 年 9 月 28 日
佐 賀 大 学

2021 年度佐賀大学入学者選抜方法の変更について（予告）

本学は、「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について」（平成 29 年 7 月 13 日付け文部科学省高等教育局長通知）を踏まえ、入学者選抜において、「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価するべく見直しの検討を進めております。

これにより 2021 年度入試以降の入学者選抜方法を変更することといたしましたので、現時点における方針等をお知らせいたします。

なお、選抜方法の詳細については、2019 年 3 月までに本学ホームページ等で公表する予定としております。

○ 大学入学共通テストについて

1. 一般選抜における第一次試験として、高等学校等における基礎的知識、および思考力・判断力を測るため、大学入学共通テスト（以下共通テスト）については、原則 5 教科 7 科目を課します。（実技検査を課す一部の学部学科を除く）

2. 英語認定試験の取り扱いについて

認定試験を一般選抜の全受験生に課すとともに、共通テストにおいて実施される英語試験を併せて課します。対象とする認定試験は、大学入試センターが認定したすべての資格・検定試験とします。

認定試験結果は、^{*1}CEFR との対照表に基づき、共通テストの英語試験の得点に加点する方法を採用します。ただし、加点に際しては、CEFR の段階に対して係数を設定し、共通テストの英語得点に各係数を乗じたものを加算します。

3. 共通テストにおける記述式問題（国語・数学）について

共通テストにおいて 5 教科 7 科目を課す原則の下、記述式問題を含む国語及び数学を一般選抜の全受験生に課します。

○ 個別試験について

1. 個別試験で課す教科・科目等については、原則として現行のとおりとし、変更はいたしません。

2. 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、教育学部、芸術地域デザイン学部（地域デザインコース）、経済学部、理工学部、農学部においては、現行の教科・科目等に加え、志願者本人が記載する高校在学中の活動実績資料等を活用する^{*2}「特色加点制度」を実施します。芸術地域デザイン学部（芸術表現コース）においては、実技検査の中で評価します。また、医学部においては、現行どおり面接を用います。

*1

CEFR（セフアール）とは、Common European Framework of Reference for Languages の略称。外国語のコミュニケーション能力を表す指標のことで、欧米を中心に広く使われている国際標準規格です。

*2

「特色加点」とは、志願者の積極的なアピールと高等学校入学以降の主体的な活動を喚起することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。センター試験、個別試験などの合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、書類審査として加点枠を設けます。

特色加点は、志願者が取り組んできた様々な活動や実績を踏まえた申請内容を評価の対象とします。申請された活動・実績の概要や取り組み状況、志望分野との関連性、入学後に期待できる主体的な学習行動や活動、根拠資料の内容等について、アドミッション・ポリシーの観点から評価します。

なお、特色加点については、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。